

医療法人仁光会 日谷眼科 2025 プランの改訂について

医療法人仁光会 日谷眼科が、令和 8 年 10 月、病床の配置を以下のように変更することに伴い、令和 5 年 3 月提出の同眼科 2025 プランを別添のように改訂する。

● 病床配置の変更

【現 行】回復期 14 床 計 14 床

【変更後】回復期 6 床 計 6 床

病棟	病床数	病床区分	病床機能		病床区分	病床機能
病棟	14	一般(一般 14))	回復期(14)	⇒	一般(一般 6)	回復期(6)
計	14	—	—		—	—

● 改訂後の 2025 プラン

別添のとおり

(参考)

広島中央圏域病床機能への影響

	必要病床数 ①	R7 協議済 病床数 ②	安芸津病院 変更影響 ③	リハセンター 変更影響 ④	日谷眼科 変更影響 ⑤	変更後 ⑥ (②-(③+④+⑤))	変更前 過不足 (②-①)	変更後 過不足 (⑥-①)
高度急性期	122	238				238	116	116
急性期	672	625	18			607	▲47	▲65
回復期	678	711		10	8	693	33	15
慢性期	669 以上	786				786	117	117
計	2,141 以上	2,360	18	10	8	2,324	219	183

(休棟等除く)

※②R7 協議済病床数は、令和 7 年 11 月に広島中央地域医療構想調整会議で審議決定した病床変更を含む。
また、令和 7 年度病床機能報告における病床数には一部医療機関の誤入力があり数値が一致していない。

項目	
病院名	医療法人 仁光会 日谷眼科
R8.7.1 現在の病床数	14 床
高度急性期	0
急性期	0
回復期	14
慢性期	0
休床	0
R8.10.1 現在の予定病床数	6
高度急性期	0
急性期	0
回復期	6
慢性期	0
休床	0
職員数（R8.7.1 現在）	医師（常勤）2 人 看護師（常勤）7 人 看護師（非常勤）2 人 検査員（常勤）1 人 事務（常勤）6 人 （非常勤）1 人
現在（R8.7.1 現在）自施設の 担っている診療実績（R7 年度実績）	延べ外来患者数 19838 人/年 一日平均外来患者数 68.9 人/年 延べ入院患者数 820 人/年 一日平均入院患者数 2.8 人/年
現在自施設の担っている政策医療	眼科診療全般
現在自施設の担っている新興感染症対応	新興感染症等の受診患者の事例はない
現在他機関との連携	眼科診療以外の併発症状がある場合は専門医機関へ連携
現在の自施設の課題	看護師・視能訓練士の確保 老朽化した施設の修理
R8(2026)年において地域で担う役割	地域における眼科医療全般を担う
R8 年現在において圏域内の他の医療機関に果たし欲しい役割	現状の通り
R8 年自施設の担っている政策医療	現状維持
R8 自施設の担っている新興感染症対応	新興感染症患者の対応事例なし
R8 の他機関との連携	現状維持
R7(2025)からの働き方改革への対応について	現状の医療提供体制の維持
建物の建て替え・改修予定	施設の修理予定はあり
高度医療機器の購入	計画的に機器の更新を行う
今後の自施設の課題・不安要素・他医療機関との連携希望など	職員の確保

病床数適正化緊急支援事業ヒアリングシート（一般病床・療養病床）

医療機関名 医療法人 仁光会 日谷眼科
代表者氏名 理事長 日谷光一郎

1 各圏域の地域医療構想調整会議における議論状況

今回の申請における削減内容について、各圏域の地域医療構想調整会議における議論状況を記載してください。

議論状況 今回議論 議論時期（議論済の場合）

2 今回の申請内容

今回の申請内容を、申請様式から転記してください。

(1) 許可病床数 (単位：床)

	許可病床数						削減病床数					
	削減前 [A]			削減後 [B]			[A]-[B]			うち今回申請対象		
	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計
1. 高度急性期			0			0						
2. 急性期			0			0						
3. 回復期	14		14	6		6	8		8	8		8
4. 慢性期			0			0						
5. 休棟中等			0			0						
計	14	0	14	6	0	6	8		8	8		8

(2) 削減申請病床数 (単位：床)

	削減申請病床数									左記のうち既に (※)		
	(今回申請対象)			うち稼働病床			うち休床病床			削減済の病床数		
	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計
1. 高度急性期												
2. 急性期												
3. 回復期	8		8	8		8						
4. 慢性期												
5. 休棟中等												
計	8		8	8		8						

(※) 申請日時点で既に削減済の病床数がある場合に記載してください。

(3) 病床稼働率（病院全体） 40,1% (4) 病床削減時期 2026年10月

(複数時期に渡る場合は、全ての削減が完了する時期)

3 病床削減に至った理由・背景

手術患者の入院期間が短期になり病床を削減しても支障がない。また施設の老朽化のため、修繕が必要な箇所が増えてきた。

4 地域において担っている役割・機能

当診療所は、有床診療所であり、眼科診療全般（手術も含む）に取り組んでいます。

5 病床を削減する場合に想定される地域医療に与える影響と対応

地域の患者数の減少や今後の医療需要を踏まえ、削減後の病床数でも現在と同等の医療提供体制を確保できるものと考えています。

6 その他（補足事項等あれば、記載してください。）